

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 25 年 12 月 19 日 (木) 15:30 ~ 16:30

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶 — 須藤健一 (館長) —

2. ニュースリリース — 八杉佳穂 (広報企画会議・議長) —
●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

3. 国際シンポジウム
北太平洋沿岸諸文化の比較研究
—先住権と海洋資源の利用を中心に

詳しくは
こちら

本シンポジウムでは北太平洋沿岸諸文化における先住権と海洋資源の利用の現状に焦点をあてます。第1部では日本における北太平洋沿岸諸文化に関する最新の研究成果を報告し、第2部と第3部では米国、カナダ、ロシアにおける北太平洋沿岸諸文化に関する最新の研究成果と連携研究の現状について報告し、比較検討します。その上で、民博とアラスカ大学、アリゾナ大学、ワシントン大学、プロティッシュ・コロンビア大学を核として北太平洋沿岸諸文化研究ネットワークの形成を検討します。

日 時：2014年1月11日(土)～1月13日(月・祝)

場 所：国立民族学博物館 第4セミナー室

定 員：各日80名(先着順)

参加費：無料

主 催：国立民族学博物館

共 催：アラスカ大学

— 岸上伸啓 (研究戦略センター・教授) —

4. 公開フォーラム
古代文明の生成—西アジアとアンデス

詳しくは
こちら

旧大陸における古代文明の発祥地と知られる西アジアと、西アジアとは異なる文明形成過程が近年報告されているアンデス。両地域で長らく研究に携わってきた考古学者を招いて、最新の調査成果を報告するとともに、従来の古代文明観がゆるぎないものなのかどうかを再検討し、両古代文明の特性について討論していきます。

日 時：2014年1月26日(日) 13:00～16:00(開場12:30)

場 所：JPタワーホール&カンファレンスホール

定 員：170名(先着順)

参加費：無料

主 催：国立民族学博物館・科学研究費補助金基盤研究(S)

「権力の生成と変容から見たアンデス文明史の再構築」代表：関雄二

協 力：古代アメリカ学会



— 関雄二 (研究戦略センター・教授) —

5. 国際ワークショップ 伝統知、記憶、情報、イメージの再収集と共有 — 民族誌資料を用いた協働カタログ制作の課題と展望

本ワークショップは、国立民族学博物館が所蔵する民族誌資料を活用する「フォーラム型情報ミュージアム構想（FIM）」に関する課題と展望を明らかにすることを目的として開催します。

日 時：2014年1月28日（火）・1月29日（水）

場 所：国立民族学博物館（1日目：収蔵庫・2日目：第4セミナー室）

主 催：国立民族学博物館

共 催：北海道大学 アイヌ・先住民研究センター（予定） — 伊藤敦規（研究戦略センター・助教） —

6. ワールドシネマ ラビット・ホール

詳しくは
こちら

今回はニコール・キッドマン製作・主演のアメリカ映画「ラビット・ホール」です。4歳の一人息子を交通事故で亡くした母親の深い喪失感から再生への過程を静かに見つけた物語を通して、大切な愛する人を突然失った時の家族の在り方について皆さんとともに考えていきたいと思えます。

日 時：2014年1月25日（土）13：30～16：00（開場13：00）

場 所：国立民族学博物館 講堂

定 員：450名（事前申込不要）

※入場整理券を10：00から講堂入口にて配布いたします。

参加費：無料



— 鈴木紀（民族文化研究部・准教授） —

7. 研究こぼれ話 政策人類学は可能か？・・・公益法人制度改革をめぐって

12月はNPO、メセナ、フィランソロピーを専門としている教授の出口正之がお話をします。

— 出口正之（民族文化研究部・教授） —

8. 年末年始展示イベント うま

詳しくは
こちら

今年で10年目を迎える年末年始イベント。来年の干支である「うま」をテーマにみんなく収蔵の資料と世界各地の「うま」にかかわる興味深い情報を紹介いたします。探究ひろば横にて今回のうま展の解説をいたします。

日 時：2013年12月12日（木）～1月28日（火）

場 所：探究ひろば横 休憩所



— 小林繁樹（文化資源研究センター・教授） —